

Central Daily Market Report

2021年3月19日(金)
セントラル短資株式会社 総合企画部

●資金需給

単位：億円	2021年3月19日 需給速報	2021年3月22日 需給予想	2021年3月23日 当社予想
銀行券	▲ 200	▲ 200	0
財政	18,300	88,100	4,000
資金過不足	18,100	87,900	4,000
金融調節			
	スタート	エンド	スタート
貸出			
全店共通			
国債買現			
国債売現			
国庫短期証買入			
国債買入			
CP等買入		▲ 1,000	
貸出支援基金(成)			
貸出支援基金(貸)			
被災地支援			
社債等買入		▲ 800	
新型コロナ対応金融支援特別			
ETF買入			400
国債補完供給	▲ 1,200	1,300	1,200
*ドル資金供給枠控除済提供額			
当預増減	16,600	88,500	4,000
当座預金残高	4,885,700	4,974,200	4,978,200
準備預金残高	4,313,400		
積み終了先	4,311,000	3月22日以降の残り所要積立額	
超過準備	4,307,600	積数	6,900
非準備預金先	572,300	1日平均	300
積み期間(3/16~4/15)の所要準備額			3,631,700
準備預金進捗率	実績	99.81%	日数
			19.35%

●2021年3月19日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、邦銀を中心に▲0.015~▲0.002%での調達で始まった。週末を跨ぐ取引にあたることから、調達水準を切り上げる先が見られた。一巡後は調整の出合いが数件見られる程度で本日の取引を終えた。ターム物に関しては期内のショートターム物で引き合いが散見された。

<レポ市場>

GC T/N(3/22-3/23)は、▲0.080~▲0.075%程度での出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では2Y410~422、5Y136~146、10Y345~361、20Y167~175、30Y59~69、40Y10~13等にビッドの出入りがあった。

<短国市場>

本日のアウトライト市場は、動意なく閑散な中、3M物が▲0.105%で出合った。

<CP市場>

現先レートS/Nは横ばい圏で推移した。発行市場は償還総額300億円程度に対して、発行総額は200億円程度と償還超であった。案件少なく閑散としたマーケットとなった。発行レートは引き続き低位横ばいで推移した。

●入札結果

本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。

●2021年3月22日の予定

*1月の景気動向指数改訂状況
*米国2月の中古住宅販売

●短期金融市場関連指標

2021/3/19	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京 レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	最低	最高	平均	最低	最高	平均			直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)	為替(17時)
単位：%							売買参考値	平均値	0.110	0.010	29,792.05	▲ 424.70	108.93-95	108.74-76
O/N	▲ 0.050	0.001	▲ 0.010				-	▲ 0.077						
T/N	▲ 0.010	▲ 0.001	▲ 0.003				-	▲ 0.083						
S/N			▲ 0.010				-	-						
1W	▲ 0.010	0.001	▲ 0.002				-	▲ 0.086						
2W							-	▲ 0.099						
3W							-	▲ 0.101						
1M							-	▲ 0.104						
3M							▲ 0.106	▲ 0.106						
6M							▲ 0.127	▲ 0.113						
1Y							▲ 0.140	▲ 0.138						
									日付	3/12	3/15	3/16	3/17	3/18
									日銀当預残	4,819,300	4,829,500	4,832,400	4,843,800	4,869,100
									準備預金残	4,269,800	4,258,800	4,262,900	4,270,500	4,301,300
									マネタリーベース	6,027,100	6,036,600	6,039,200	6,050,800	6,076,600
									無担O/N加重平均	▲ 0.013%	▲ 0.016%	▲ 0.019%	▲ 0.018%	▲ 0.014%
									コール市場残高	142,202	129,743	149,291	139,639	139,144
									うち無担	121,466	109,614	129,036	118,800	118,470
									うちO/N	66,403	61,216	81,048	64,907	66,147
									うち有担	20,736	20,129	20,255	20,839	20,674

●オペ結果

種類	オファー額 (億円・ 百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付 利率	応札総額 (億円・ 百万ドル)	落札総額 (億円・ 百万ドル)	按分レート ・利回較差 ・価格較差	全取レート ・利回較差 ・価格較差	平均落札レート ・利回較差 ・価格較差	按分 比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)		2021/3/19	2021/3/22	▲ 0.350	1,196	1,196		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補完供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)		2021/3/19	2021/3/22	▲ 0.350	0	0				

●日銀政策決定会合・結果

●より効果的で持続的な金融緩和について
1. より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検
日本銀行は、本日、政策委員会・金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行った。その結果、基本的な政策の考え方としては、2%の「物価安定の目標」を実現するため、持続的な形で、金融緩和を継続していくとともに、経済・物価・金融情勢の変化に対して、躊躇なく、機動的かつ効果的に対応していくことが重要であると判断した。こうした観点から、以下の対応を行うことを決定。
①金融仲介機能への影響に配慮しつつ、機動的に長短金利の引き下げを行うため、短期政策金利に連動する「貸出促進付利制度」を創設する。②イールドカーブ・コントロールについて、平素は柔軟な運営を行うため、長期金利の変動幅は±0.25%程度であることを明確化する。同時に、必要な場合に強力に金利の上限を画するため、「連続指値オペ制度」を導入する。③ETFおよびJ-REITについて、新型コロナウイルス感染症の影響への対応のための臨時措置として決定したそれぞれ約12兆円および約1,800億円の年間増加ペースの上限を、感染症収束後も継続することとし、必要に応じて、買入れを行う。
2. 当会の金融政策運営については、以下のとおり決定。
(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成8反対1)
短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。
(2)資産買入れ方針(全員一致)(長期国債以外の資産の買入れについて)
①ETFおよびJ-REITについて、それぞれ年間約12兆円、年間約1,800億円に相当する残高増加ペースを上限に、必要に応じて、買入れを行う。
②CP等、社債等については、2021年9月末までの間、合計で約20兆円の残高を上限に、買入れを行う。
3. 先行きの金融政策運営方針
日本銀行は、2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、これを安定的に持続するために必要な時点まで、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続する。マネタリーベースについては、消費者物価指数(除く生鮮食品)の前年比上昇率の実績値が安定的に2%を超えるまで、拡大方針を継続する。引き続き、①新型コロナウイルス対応資金繰り支援特別プログラム、②国債買入れやドルオペなどによる円買および外貨の上限を設けない潤沢な供給、③それぞれ約12兆円および約1,800億円の年間増加ペースの上限のもとでのETFおよびJ-REITの買入れにより、企業等の資金繰り支援と金融市場の安定維持に努めていく。当面、新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、必要があれば、躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じる。政策金利については、現在の長短金利の水準、または、それを下回る水準で推移することを想定している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入